

令和3年度 議会報告資料



滑川町マスコットキャラクター
ターナちゃん

令和4年3月
滑川町議会

目次

議員名簿	- 3 -
総務経済建設常任委員会 所管事務.....	- 4 -
年間計画.....	- 5 -
・公園、緑地等広場の整備状況について.....	- 6 -
・里づくり事業の取組状況について.....	- 7 -
・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会の事業進捗状況について.....	- 8 -
・滑川町商工会との意見交換会について.....	- 9 -
文教厚生常任委員会 所管事務.....	- 10 -
年間計画.....	- 11 -
・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」（比企一族関連史跡視察）について.....	- 12 -
・障害者施設視察について.....	- 13 -
・学校ALT、ギガスクール（タブレット使用授業）視察について.....	- 15 -
・保育園視察について.....	- 17 -
議会運営委員会活動報告.....	- 18 -
議会広報発行対策特別委員会報告.....	- 19 -

議員名簿

議長

文教厚生常任委員

瀬上 邦久

副議長

議会広報発行対策特別委員長、議会運営委員、総務経済建設常任委員

宮島 一夫

議会運営委員会 委員長

総務経済建設常任委員

北堀 一廣

議会運営委員会 副委員長

文教厚生常任委員

井上奈保子

総務経済建設常任委員会 委員長

議会広報発行対策特別委員

吉野 正浩

総務経済建設常任委員会 副委員長

議会広報発行対策特別委員

内田 敏雄

総務経済建設常任委員

議会運営委員

松本 幾雄

総務経済建設常任委員

議会広報発行対策特別委員副委員長

阿部 弘明

文教厚生常任委員会 委員長

議会運営委員

菅間 孝夫

文教厚生常任委員会 副委員長

議会広報発行対策特別委員

上野 葉月

文教厚生常任委員

議会広報発行対策特別委員

上野 廣

文教厚生常任委員

議会運営委員

高坂 清二

文教厚生常任委員

議会広報発行対策特別委員

紫藤 明

総務経済建設常任委員会 所管事務

所管の課・局	主な事務
総務政策課	情報公開・自治振興・消防・防災・交通安全・ 総合振興計画・財政
税務課	町民税・法人住民税・固定資産税・軽自動車税
環境課	公共下水道・農業集落排水・浄化槽
産業振興課 農業委員会	農林業・商工業・観光・土地改良 農地の賃借・農地転用
建設課	道路・橋梁・河川・都市計画・建築・開発
会計課	収入及び支出・決算
水道課	水道用水の供給・施設工事
議会事務局	定例会・臨時会・請願書等の受理・議会傍聴

総務経済建設常任委員会

1 第1回協議会

日時 令和3年5月13日

総務経済常任委員会年間計画の策定については、コロナ禍であることから町外には出ずに町内での視察研修を実施することとなり下記の通り計画をしました。

年間計画

実施日	会議	事業内容
5月12日	第1回協議会	年間計画策定
7月27日	第2回協議会	公園、緑地等広場の整備状況について
10月14日	第3回協議会	里づくり事業の取組状況について
11月18日	第4回協議会	大河ドラマ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会の進捗状況について
令和4年 1月13日	第5回協議会	滑川町商工会との意見交換について

・公園、緑地等広場の整備状況について

日時 令和3年7月27日

公園は住民の活動の場であり、憩いの場であるとともに、市街地においては災害時の避難場所となる。また、緑地は地球温暖化の防止にも寄与している。

調査では公園・緑地の整備状況と公園遊具等の維持・点検等の状況を行った。また、公園へのトイレの設置状況や洋式化したトイレの現況を調査した。

トイレの設置要望のあった公園を調査したところ、公園規模が小さい街区公園で、トイレを公園施設として設置しなくてもよいもので、住宅が隣接していることから臭いや浮浪者が居つくといった事が想定されるため要望はいただいたものの設置が難しいとの担当課の見解であった。また、運動施設にある公園のトイレについて、子どものサッカーや野球に利用されていることから洋式化できないものか検討したが、現状の面積では和式を洋式化するには建替えが必要で、財源的に今後の懸案事項となった。森林公園駅北口森のオアシスのトイレについては、議会からの要望もあり、男女とも洋式化された。

公園遊具の点検は、専門業者に委託をして定期的を実施し、町職員による点検も随時行っている。



森林公園駅北口
森のオアシス全景

森のオアシスの洋式化された
トイレ



・里づくり事業の取組状況について

日時 令和3年10月14日

市民農園の推進、町への集客、耕作放棄地解消、農村景観事業の取組として4か所の里を視察・調査した。

①ぶんやまの里（下福田地区）・・・耕作放棄地であった農地を、武州ころ柿の生産圃場として復元・整備した。

②谷津の里（上福田地区）・・・市民農園を中心とした周辺管理（交流広場、散策路、区域内山林等）や収穫体験、ふれあいイベントなどを実施している。

③菅田の里（菅田地区）・・・耕作放棄地を町の推奨作物ぼろたん栗の生産圃場として整備した。

④中尾の里（中尾地区）・・・耕作放棄地を町の推奨作物ぼろたん栗、みかん、柿の実験農場として整備した。

本町は、観光や集客となると国営森林公園やゴルフ場などに依存しているが、町として里づくりを更に充実させ観光拠点として整備して行くことが必要ではないかと感じた。



②谷津の里（上福田地区）



④中尾の里（中尾地区）

・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会の事業進捗

状況について

日時 令和3年11月18日

本町和泉の三門館跡には、鎌倉幕府初代将軍源頼朝の乳母の比企尼が住んでいたとされている。比企氏は幕府で有力御家人であったが、北条氏に滅ぼされてしまう。大河ドラマではほとんど知られていない比企一族が登場し描かれることになる。これを契機として比企地域の魅力発信事業を行うとし、9市町村で協議会を発足した。本委員会では、事業の進捗状況を担当課から説明を受け、三門館跡周辺を視察した。

本町の魅力発信事業の取組としては、和泉三門館跡の案内板設置、比企尼観光案内板を森林公園駅北口駅前に設置、のぼり旗・横断幕・懸垂幕の設置、谷津田米PR動画・販促シールの作成など行う。

協議会としては、リーフレット・ポスターの作成、のぼり旗の設置、9市町村広報リレーなどを行う。



和泉三門館跡付近に設置された案内板



役場ロビーに設置された観光案内等特設コーナー

・滑川町商工会との意見交換会について

日時 令和4年1月13日

当日は役場2階会議室にて、滑川町商工会より会長、副会長2名、事務局長1名、経営指導員1名と産業振興課より課長、農林振興担当1名の出席を頂き、初めに商工会について令和2年度地域貢献レポート資料を基に昨年度の活動実績の説明を受け、また、令和3年度の滑川町商工会通常総会資料を基に今年度の業務説明を頂き商工会事業の多岐に渡る業務について理解を深める事が出来、さらには、コロナ禍における産業振興課と商工会の役割及びコロナ禍における商工業者への相談・対応について説明を頂いた、その後、今後の課題等において意見交換を行った。

委員より商工業者からのコロナ禍による相談の件数や相談内容についての質問、商工会加入者の業種、コロナ禍における加入者以外への相談支援の状況等があり、活発に意見交換をすることが出来た。



意見交換に向けた委員長挨拶



商工会との意見交換風景

文教厚生常任委員会 所管事務

所管の課・局	主な事務
町民保険課	国民年金・国民健康保険・ 後期高齢者医療保険・介護保険
健康福祉課	生活保護・障害者福祉・児童福祉 ・高齢者福祉・包括支援センター
健康づくり課 (保健センター)	母子保健・予防接種・感染症 健康づくり・栄養指導・精神保健
環 境 課	環境保全・公害防止・ごみ処理計画・埋立規制
教育委員会事務局	学校教育・生涯学習・生涯スポーツ・図書館・幼稚園・文化財保護

文 教 厚 生 常 任 委 員 会

2 第1回協議会

日時 令和3年5月13日

文教厚生常任委員会年間計画の策定については、コロナ禍であることから町外には出ずに町内施設の視察研修を実施することとなり下記の通り計画をしました。

年間計画

実施日	会 議	事業内容
5月13日	第1回 協議会	年間計画策定
7月7日	第2回 協議会	大河ドラマ「鎌倉殿の13人」(比企一族 関連史跡視察)について
10月27日	第3回 協議会	障害者施設視察について
12月10日	第4回 協議会	学校ALT、ギガスクール(タブレット使 用授業)視察について
令和4年 1月26日	第5回 協議会	保育園視察について

・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」（比企一族関連史跡視察）について

て

日時 令和3年7月7日

場所 大岡市民センター・宗悟寺・泉福寺・三門館跡

目的 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放映が決まり比企一族（比企能員）への関心から委員会の研修を実施した

源頼朝が伊豆に流されたため乳母の比企尼が20年もの間、物心両面の支援を続けた。鎌倉幕府立ち上げでも尼の養子である比企能員らが活躍しやがて合議制13人の一人までになっているが頼朝の死後北条氏から妬まれ比企一族や二代将軍頼家も滅ぼされてしまった。

頼家の妻若狭局（能員の娘）は頼家の位牌を持ち帰り比丘尼山傍に寿昌寺（現宗悟寺）を建立し弔ったと云う。近くの串引沼は若狭局が頼家との思いを断ち切るため夫からいただいた大切な串を投げ入れた沼とのこと。今も鎌倉市の中央を流れる滑川（なめりがわ）は、故郷恋しさに一族が名付けたと云う。

◎泉福寺【重文・木造阿弥陀如来坐像が保管されている】

境内には、数十年前近くの田んぼを整備した際に発見された直径1m程、中央に穴が開いており塔の心柱の礎石に使われたような石がある。

◎三門館跡（和泉字三門）は泉福寺の向かい側、八宮神社の南方に位置し四方に土塁や堀があるが確認がしにくい。口伝によれば比企尼の夫である比企遠宗の屋敷跡と言われているが資料や遺物は発見されていない。



泉福寺田圃で発見の石

数十年前、泉福寺前の圃場（ほじょう）整備（せいび）の際に発見され、三重塔のようなものの心柱（しんばしら）の礎石ではないかと思われる。



頼家の位牌

・ 障害者施設視察について

日時 令和3年10月27日

場所 社会福祉法人 滑川珠美園

珠美園は「自立した日常生活を営むこと」等を基本方針に設立され、定員56名である。

昨年4月には建物や設備の老朽化に伴い敷地を拡張して新築し近代的設備を整えた清潔で綺麗な建物となり定員の他に短期2名が収容できるが常に満室の状態が続いている。

居住する個室は六畳間位で10代～80代の方、入所して数十年の方も多く平均でも60歳代でここも高齢化が進んでいる。

一日の活動は、起床・朝食で始まり、園外活動では花や野菜作り、陶芸・各種の訓練もあります。他にグループでのゲームやお絵描きなどを楽しみ消灯まで日常生活活動動作の向上を目指し頑張っています。



居室ごとにグループで活動



新しくなった滑川珠美園

場所 社会福祉法人オルオル 生活介護事業所たけのこ

「たけのこ」は心身に障害のある子供たちが学校卒業後の地域の中に働く場・生活の場を目的とした施設で平成8年に設立されたものです。

新築にあたり、現場からは埋蔵文化財の遺跡が発見されたため建設に先立って発掘調査が行われていました。

昨年4月見晴らしの良い高台に建物が完成し素晴らしく綺麗な事業所が完成しております。

今まで役場の旧タナゴ館を利用していましたが新たに建物を建設し定員は30名で近隣の6市町の10代～70代22名の方が利用し職員10名で送迎も行っております。

日課は朝の送迎から始まり木工製品やアクセサリーを作り森林公園中央口・西口売店や農産物直売所で、また色々の祭りや行事で販売をしています。

他にも近隣の清掃活動やら音楽活動・創作活動を行うほか季節の行事も行い設立目的に沿いそれぞれの個性に合わせた日課を過ごしています。



ビーズ作りの作業風景



新設されたオルオル

・学校ALT、ギガスクール（タブレット使用授業）視察について

日時 令和3年12月10日

場所 月の輪小学校

小学校の授業に英語が取り入れられ3～4年生は親しむ外国語、5～6年生は「聞く話す読む書く」を目的としている。

ALT（日本人+外国人）指導教諭と助手が生徒一人一人に腰をかかめながら、英語で話しかける「挨拶し質問し回答を受けお礼言って」次の生徒に移動する。この動作を繰り返して指導する。生徒数も多いがチームワークも良く教えている。

またプロジェクターを活用し発音の仕方、指導助手による「外国人の英語の発音発声見本」を教えるなど将来を見据えた教育方法である。

今回の視察で月の輪小学校の教育目標「やさしい子」「かしこい子」「たくましい子」を育てる教育が実感出来た。



ALTの授業を受ける月の輪小学校の児童

ALT指導教諭と英語の授業を行う



場所 宮前小学校

昨年から全国の小学生全員にタブレットを貸与されました。

パソコンとほぼ同じ機能を持っており授業の教材として活用が期待されています。大きさはノート大で二つ折、目方は1.2キロ位でリースされ6年間が使用期間です。

1年生はタブレットを使った足し算の授業で高齢の方でも見ていて良く理解が出来ました。3年生は音楽の授業でプログラミングと同じように好きな1小節の音符を繋ぎ合わせて自分で作曲したものを手拍子で叩き発表する授業でした。6年生はタブレットを使ってのプログラミング（部品を順序良く繋ぎ合わせ動作をさせる）の授業で生徒は個々の好みで物作りをしていたがディスプレイが小さくて見えず視察では理解できなかった。

タブレット授業は他にも国語・理科・社会・体育にも使われているとのことであるが子供たちはゲームの様に親しみながら学んでおり将来はITやAIに長けた未来を担う大人に成長していくと確信している。



タブレット端末を使用した算数の授業



タブレット端末で行うたし算

・ 保育園視察について

日時 令和4年1月26日

場所 どんぐり第2保育園、イチゴ保育室、よつば保育園

保育園視察の予定であったが新型コロナ（オミクロン株）の感染が急激に拡大し町内でも幼児から大人まで感染者が増加しているため視察計画は延期しました。

議会運営委員会活動報告

1. 議会運営についてすべてのことに協議を行い決定して本会議に報告した。
 - a. 議会の会期の決定
 - b. 議案及び一般質問等の日程及び時間の割り振り
 - c. 陳情書及び請願書の取扱いの決定
 - d. その他必要事項の決定
2. 先進議会の調査研究については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から本年度は中止とした。
3. 議会報告会の実施についてを協議し、本年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止と決定した。
4. 本年度より開かれた議会の運営として会議のインターネット音声配信を行った。
5. 今後の取り組みと課題
町民に開かれた議会の運営、町民にわかりやすい議会運営及び関心を多く持ってもらう議会運営に取り組む。

議会広報発行対策特別委員会報告

議会広報発行対策特別委員会は、滑川町議会基本条例第 16 条の規定により活動している委員会でございます。その活動概要について報告をさせていただきます。

当委員会は、多くの町民が議会並びに町政に関心をもっていただくことを目的として、議会広報紙「なめがわ議会だより」を発行しています。

発行責任者は、議会議長です。そして、編集委員は、総務経済建設常任委員会及び文教厚生常任委員会から選出された 7 名でございます。

なめがわ議会だよりは、議会における審議内容、討論及び質疑等について、わかりやすさ、読みやすさ等に心がけ編集委員一丸となり編集に携わりました。

議会定例会は、3月・6月・9月・12月に開催されますが、発行日は、編集作業等の関係で定例会翌々月(5月・8月・11月・2月)の1日付けで発行しました。

なお、委員会では、議会だよりの感想・ご意見等を募集しています。

議会だよりを読んでの感想・ご意見等をいただき「読者の声」として、議会だよりにご紹介させていただく予定です。